

札幌社保協 FAXニュース

2009年 10月9日(金)
 社保協事務局 発行
 TEL823-0867 Fax821-3701
 E-mail:s-syaho@kin-ikyo.or.jp
 http://www.sapporo-syahokyo.jp/

次回の国保・介護・
 後期高齢者110番は
 10月29日(木)です。

インフルエンザ対策で市に要請 国保資格証世帯へ臨時の保険証交付を、 ワクチン接種は無料化や軽減を!



札幌社保協会、道生連、新婦人札幌協議会、協立いつくしみの会、札幌老会、障害者サークルはまなすは、10/7に札幌市へ、下記の3項目の申し入れを行いました。佐藤札幌社保協代表・道生連事務局長をはじめ道生連、新婦人、北区社保協代表、札幌老会から6人が参加しました。

要請項目

1. 新型インフルエンザ感染が疑われる場合、すぐに受診できるように、国民健康保険資格証明書世帯に保険証を緊急に交付してください。
2. 保険証交付までの間は、医療機関への支払が困難であると申し出た被保険者に、緊急的な対応として短期保険証を直ちに発行してください。
3. 新型インフルエンザワクチンの接種料金は、少なくとも季節性インフルエンザワクチンと同様の料金を基本にし、できるだけ軽減を図ってください。

●1と2は市の国保年金課収納対策部課長が対応し、保険証交付は現時点では考えていないとのことでした。

参加者からは、保険証がなければ結局受診しない人が多くなるので、北見・苫小牧などが実施しているように、緊急的な対応を要請しました。

――資格証世帯で窓口10割負担ができない世帯には短期保険証をまず交付――

●2については実施する、資格証明書で窓口10割負担ができないと申し出があった場合は、まず短期保険証を交付して受診してもらい、その後に払えない状態の確認や納付相談を行うということです。インフルエンザが疑われ、区役所まで行けない場合は、電話での相談でも必要と判断した場合、短期保険証を郵送することもありえるとのことです。

これは良いが、肝心の資格証明書世帯が知らなければ意味がないので、該当者や医療機関にも周知徹底してほしいと要請。該当世帯に通知する方法を検討するとのことでした。

●ワクチン料金の問題は保健所の医療担当部長・感染症総合対策課長が対応しました。新型ワクチン料金は国が1回目3,600円、2回目2,550円と公表し、低所得世帯への予算措置はしたが、各自治体で料金を決めることになっています。札幌市は現在検討中で、11/5までの議会で補正予算措置を決める予定です。補助金が出るもの―生活保護世帯・非課税世帯無料化―などは検討しやすいが、私たちが要求している「少なくとも従来のインフルエンザワクチンと同様に」ということになると、65歳以上への国の助成などはなく、全て市負担になるので、大変厳しいとの回答。

出席者からは高齢者の年金生活の厳しさとあわせて、若い子育て世代も年収がどんどん減って、ワクチン接種に6000円以上の負担は大変である、と重ねて接種料金の軽減を要望しました。

後期高齢者医療は廃止を!

10/15は年金支給日で、年金者組合・社保協などは「後期高齢者医療制度廃止!」を迫る宣伝を行います。道労連や各団体もそれぞれの要求を掲げて行います。

札幌大通西3丁目 12:10~13:00は、各団体が集まって大きな宣伝をします。

札幌 北	10時半~	麻生ダイエー前
札幌 東	10時半~	東区役所前
札幌白石	10時半~	地下鉄菊水駅
札幌厚別	10時~	新札幌サンピアザ
札幌豊平	10時~	北洋平岸店前
札幌清田	10時半~	西友清田前
札幌 南	11時~	北洋銀前
札幌 西	10時~	琴似ダイエー前